

# ゆめみにゅーす



# YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 14  
発行日 平成21年11月21日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:26種191点  
鳥類:28種157点  
爬虫類:9種36点  
(平成21年10月末日現在)

## ホンシュウジカの除角を実施しました。



左上:除角前  
右上:除角中  
右下:除角後

秋はホンシュウジカの繁殖シーズンです。オスは立派に成長した角を突き合わせてメスを奪い合います。この時期のオスは目がすわって気性が荒くなり、動きも激しくなります。

本来シカの角は春になると落ち、秋に向けて再び生えるというサイクルを繰り返しますが、飼育員やシカ同士のケガを予防する目的で、10月1日にホンシュウジカのオス4頭の除角(角切り)を実施しました。

除角するために、まず、吹矢でシカに麻酔薬を投与し、眠ったシカを職員数人で息を合わせて押さえつけました。その後、ノギリで角を切り落とし、最後に麻酔拮抗薬(麻酔薬の効果を打ち消す薬)を注射し、除角作業は無事終了しました。

## ★動物たちへの年賀状展★

～動物たちが皆さんからの年賀状を心待ちにしています!!～

皆さんのお気に入りの動物たちにメッセージを添えて年賀状をお送りください。

お送りいただいた年賀状の中から、『来園者賞』として10名、『飼育員賞』として8名、『園長賞』として1名の方に夢見ヶ崎動物公園オリジナルバッチをプレゼントします。

◎募集期間：平成22年1月1日(金)～1月15日(金)必着

◎展示期間：平成22年1月23日(土)～1月31日(日)

◎展示場所：川崎市夢見ヶ崎動物公園事務所内レクチャールーム

◎あて先：〒212-0055 川崎市幸区南加瀬1-2-1 川崎市夢見ヶ崎動物公園「年賀状展」あて

◎注意事項

【ハガキ表面】あて先に必ず「年賀状展」と記載してください。差出人の住所、氏名は必ずお書きください。

【ハガキ裏面】動物写真、イラスト、メッセージなどをお書きください。裏面を展示しますので差出人の住所・氏名等の個人情報を書かないようにしてください。

\*お送りいただいた年賀状はお返しできませんので御了承ください。

# ★ピックアップ動物★

## ミーアキャット

分類: 哺乳綱 食肉目 マングース科



ミーアキャットの本拠地は南アフリカで、半砂漠の乾燥地帯に住んでいます。

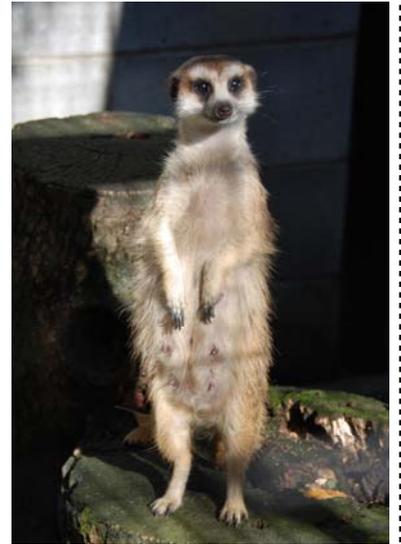
食性は雑食性で、地下にトンネル状の巣穴を掘り、数頭から数十匹の群れを形成して生活します。子どもが生まれると、両親をはじめ群れのメンバー全員で世話をします。

外敵を警戒する時、日光浴をする時の愛嬌のある立ち姿が人気です(右写真:メス)。

動物公園では10月初旬に子どもが3頭生まれている事が確認されました(左写真:オスと子ども)。その後すくすくと成長し、今では元気に走り回る姿を見せてくれています。

5月にも出産が確認されましたが、このときは残念ながらうまく育てることが出来ませんでした。そこで、職員が手作りの巣箱を工夫して設置したところ、今回は順調にいき、一生懸命子どもの面倒を見ています。

来園された際には、ミーアキャットの家族をぜひご覧になってください!!

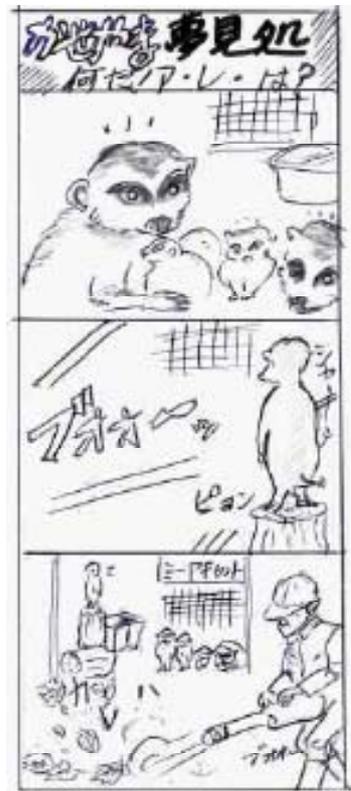


# ★動物たちの引っ越しについて★

動物公園にいる動物たちも他の動物園などへ引っ越しすることがあります。この「引っ越し」とは、展示施設の拡充や希少動物の繁殖などの目的のために、動物園間で動物を賃借・譲渡し合うことです。

10月29日にはホンシュウジカのオス1頭、メス2頭が「埼玉県こども動物自然公園」へ搬出されました。

また、12月2日にはハートマンヤマシマウマのイブキ(オス)が「福山市立動物園」へ搬出予定です。イブキは去年の9月13日に生まれた個体で、母親のミドリに育児放棄されてしまったという経緯があります。職員一丸となって世話をしたこともあり、順調に育ってくれたイブキ、新居へ行ってもグランドで元気に駆け回って欲しいものです。



## ★動物たちの主な移動(平成21年8月1日～平成21年10月31日)★

プレーリードッグ(性別♀×2:死亡)、ヒオドシジュケイ(性別♀:死亡)、フサホロホロチョウ(性別?:死亡)、ポリビアリスザル(性別?:繁殖)、ミーアキャット(性別?×3:繁殖)、ホンシュウジカ(性別♂×1、♀×2:譲渡)